

視点

- 2 信頼され、期待に応える事務所を目指して
■北陸地方整備局 北陸技術事務所長 村下 剛

地域の動き

- 3 富山の中核を洪水から守る 神通川の堤防を高く、強く
富山市街地重点防御築堤事業に着手
■富山河川国道事務所 調査第一課
- 5 県民の安全・安心の確保に向けて
石川県における住宅耐震化の促進
■石川県土木部建築住宅課

技術レポート

- 7 国立公園第一種特別地域において自然環境に配慮したダム建設
胎内川総合開発事業「奥胎内ダム」
■新潟県新発田地域振興局地域整備部
- 11 法面作業を疑似体験
法面工向けVR安全教育システム
■(株)興和
- 13 上信越自動車道 天神堂トンネル工事
供用線近接施工における脆弱地山対策
■戸田建設(株) 関東支店
- 17 日常管理・点検業務等を支援するクラウドサービス
i-MASTERを活用した日常管理の効率化
■八千代エンジニアリング(株)



起工式での鉄入れ▶P.3



耐震リフォーム達人塾(施工講習編)▶P.5



奥胎内ダム竣工式典▶P.7



安全VR体験状況▶P.11



インバート早期閉合状況▶P.13



スマートフォンを利用した現場作業の効率化▶P.17



■陽南環状交差点(ラウンドアバウト)の開通

令和元年5月20日に、上市町女川地内において富山県内初のラウンドアバウトである「陽南環状交差点」が供用開始しました。

この交差点は、上市町の重要な幹線道路が交差する箇所ですが、近接して信号機を備えた交差点があるため、新たな信号機の設置による交通渋滞の発生や、信号を見誤る恐れがあることから、警察との協議を重ね、環状交差点の導入を決めています。

環状交差点の特徴は、交差点内を時計回りのドーナツ型にすることで、交差点での減速による事故の抑止効果があります。また、付近には小学校や町営住宅があり、多数の歩行者の利用が想定され、交差点内の速度低下により歩行者への安全性が向上するものと期待されます。

【富山県 上市町】

シリーズ 現場技術者の「知得」

- 19 ICT普及拡大に向けた取組
■北陸地方整備局 企画部 施工企画課



実践者クラスの開催の様子▶P.19

先輩なう!

- 21 安全・安心を未来へつなぐ
■(株)ネクスコ・メンテナンス新潟
新潟事業所 保全課 五十嵐 彩絵さん



五十嵐 彩絵さん▶P.21

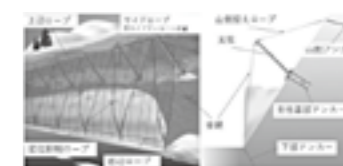
新技術情報

- 22 NETIS登録技術
■令和元年度登録技術

- ・工事写真 黒板自動解析システム
【登録番号：HR-190001-A】
(株)ワイズ
- ・スロープガードネットSタイプ
【登録番号：HR-190002-A】
(株)プロテックエンジニアリング



工事写真黒板自動解析システム
▶P.22



スロープガードネットSタイプ
▶P.22



「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは?

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp